

地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム報告



平成 29 年 10 月 21 日（土）と 22 日（日）の 2 日間、東京都千代田区の東京グリーンパレスにおいて、住民・行政・医療関係者等を一堂に会し、「地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム 2017」を開催しました。

台風の影響が心配される中、今回も北は青森県から南は宮崎県まで 48 名の方にご参加いただき、無事に全日程を終えることができました。

1. 開会挨拶

主催者を代表し、松村正巳氏（自治医科大学地域医療学センター長）が開会の挨拶を行いました。



2. 趣旨説明

趣旨説明では、「シンポジウムのこれまでと、これから」と題し、藤本晴枝氏（NPO 法人地域医療を育てる会理事長）に本シンポジウムの経緯、目的、流れ等についてご説明いただきました。



3. グループワークテーマ回答者発表

事前アンケートの回答の中から選出した、これからの地域医療のキーワードとなる①多職種連携、②小児・産科医療、③終末期医療、④地域で育てる医療者、⑤人口減少社会、⑥医療者確保、⑦健康のまちづくりに対する想いを、それぞれの回答者に語っていただきました。



4. グループワーク

グループワークでは、「みんなわけあってグループワーク」と題し、前述のキーワードからあらかじめ興味のあるテーマを選び、テーマごとに8グループ（1グループ5～6名）に分かれました。あらかじめ指名させていただいたファシリテーターがまとめ役となり、各グループがそれぞれのテーマでグループワークを行いました。



まず、福田政憲氏（宮崎県北の地域医療を守る会事務局長）より、グループワークの進め方について説明がありました。その後、配布した質問用紙に参加者それぞれが『私の理由（わけ）』を記入し、グループ内で順番に自己紹介とともに発表していただきました。



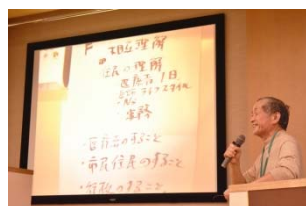
グループ内で『私の理由（わけ）』の発表が終わると、それに対する課題や原因、悩みなどをポストイットに書き出し、模造紙に貼り付け、さらにそれを分類していきました。そうして見えてきた課題の解決策を検討しました。



さらに、これまでの議論を踏まえ、各グループそれぞれのテーマで、来年度の全国シンポジウムのプログラム案を検討し、A3用紙2枚程度にまとめていただきました。

5. 全体会

全体会では、小松憲一氏（自治医科大学地域医療連携型医学教育・研修部門助教）の進行のもと、「全国シンポジウム 2018 プログラムコンペティション」を行いました。各グループ10分程度で、A3用紙に記入した“プログラム案”について、プレゼンテーションをしていただきました。



発表を終えたところで、良いと思ったグループ1つを選び、投票しました。

6. 講評および閉会挨拶

松村正巳氏から全体の講評を、小谷和彦氏（自治医科大学地域医療学センター副センター長）から閉会の挨拶をいただきました。その後、参加者全員で写真撮影（冒頭の全体写真）を行い、無事に2日間の日程を終えました。

